

# 地域と施設をつなげ隊!



日程:平成29年12月12日(火)  
会場:パートナーせや  
参加者:地区社協役員、民生委員、施設職員等42名

せや障がい者後見の支援室「まんまる座」の皆さんの講義のあと、グループに分かれ意見交換を行いました。合間の休憩ではコーヒーが用意され、障害福祉施設の製品が販売されました。皆さんコーヒーを片手に話が弾んでいました。



はコーヒーが用意され、障害福祉施設の製品が販売されました。皆さんコーヒーを片手に話が弾んでいました。

### 参加した方からの感想

地域と施設と一緒に“やってみな”と思うこと

- 高齢者や子ども達の居場所を作りたい。
- 地域と施設の情報交換を密にしたい。
- 障がいのある方との交流の場を作りたい。

# ボランティアのつどい

～ボランティア祭り～

開催のお知らせ

<主な内容>中学生・高校生ボランティアの活動報告、釜石からのメッセージ、スタンプラリー(景品先着200名)、模擬店、釜石物産展、点字、音声訳体験等

日時 ●平成30年3月17日(土) 10:00～14:00

会場 ●せやまる・ふれあい館

対象者 ●どなたでも

参加費 ●無料

<問合せ先>横浜市瀬谷区社会福祉協議会 ボランティアセンター  
電話:361-2117 申込不要

バルとパルロ 人気介護ロボットがやってくる!

# ほのぼのせや



承認●瀬谷区第35号

http://seyaku-shakyo.jp

第3期瀬谷区地域福祉保健計画 推進中!!

# 私たちにとって身近な活動が この計画に詰まっています!



いま日本では、認知症高齢者や独り暮らし高齢者の増加、生活困窮世帯の増加などにより、公的サービスでは対応できない課題を抱えたケースが急増しています。瀬谷区も例外ではありません。そこで、地域住民の皆さんや公的機関、事業者などが一体となって、みんなで地域での生活を支えるために計画を策定し、さまざまな取組を進めています。

### ★基本理念★

## みんなでつくる、みんなのしあわせ

全員で地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいを進めることで、“誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくり”を目指しています。今回は区内3地区の取組を紹介します!

## 功労者表彰

(敬称略)

### 平成29年度全国社会福祉大会

#### ■厚生労働大臣表彰

せや布えほんぐる一ふ

#### ■全国社会福祉協議会会長表彰

阿久和北部地区社会福祉協議会

### 第66回神奈川県社会福祉大会

#### ■県社会福祉協議会会長感謝

阿久和北部連合デイサービスさくらんぼの会  
瀬谷まほろば/配食サービス「いなほ会」

#### ■県社会福祉協議会会長表彰

カシュCache/つどいの広場「ほっとスペース」  
楽老ハイツ自治会 楽老サロン

#### ■神奈川県知事表彰

瀬谷区更生保護女性会  
瀬谷区シニアクラブ連合会(共同募金運動70周年記念)

#### ■県共同募金会会長感謝

高岩 敏和  
国際ロータリー第2590地区横浜瀬谷ロータリークラブ  
諸橋 政治(共同募金運動70周年記念)

### 第37回横浜市社会福祉大会

#### ■横浜市社会福祉市長表彰

ふれあいサロン下瀬谷/ほっと三ツ境

#### ■横浜市社会福祉協議会会長感謝

相沢ふれあいサロンI/相沢ふれあいサロンII  
阿久和南部高齢者食事会/阿久和北部お楽しみ食事会  
子育てサロンえむ/瀬谷区傾聴ボランティアえがお/ひよこサロン  
南瀬谷地区社会福祉協議会

### 平成29年度瀬谷区社会福祉功労者表彰

青木 繁師/石井 俊和/伊藤 美代子/井上 幸子/岩崎 イセ子  
大関 クニ子/岡部 修/風間 好江/河上 みさ子/工藤 知子  
栗原 正江/芝本 智子/清水 弘江/杉本 靖子/並木 直樹/能條 静子  
早坂 由利子/丸山 将夫/茂木 清子/山田 聡子/アハファイフラ カウホラ  
言葉を楽しむ会こたま/瀬谷区災害ボランティアネットワーク  
瀬谷どんぐりの会/NPO法人楽竹会/匿名4件



## せやまる・ふれあい館

### ●アクセス

相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分  
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

### ●駐車場

26台 ※障がい者用駐車場2台  
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



### 開所時間

■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/8:45～17:15  
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00  
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

### 編集後記

瀬谷は横浜の田舎でもいい、なかなかいい所だと、年齢のせいかなそんな気持ちになってきました。ちょっと自然もあり、ちょっと便利、昔のようにご近所さんとの関係が密でなくていい。でも、もう少し助け合いの必要を感じる昨今です。お互いさまのご近所づくりや、いろいろな場に参加してみることも大切。みんなでつくるみんなのまちに出てみませんか。(紅林委員)

### 広報委員会

委員長 ●遠山 丈晴(瀬谷第四地区社協)  
副委員長 ●紅林 千津子(相沢地区民児協)  
水村 明(瀬谷第一地区社協)/飯塚 陵子(ワーカースわくわく)  
八木澤 恵奈(瀬谷区知的障害理解啓発グループ ant mama)

## 安心して

瀬谷第二地区



『人と地球にやさしくをみんなで考える集い』

瀬谷第二地区では、「誰もが健康で安全に安心して、心豊かに暮らせるまち」を目指して、7つのテーマごとに活動を進めています。その中の「地域活動への参加拡充」として『人と地球にやさしく』をみんなで考える集いを毎年開催しています。昨年度は、認知症の理解を深めるための講演を行い、認知症の方も安心して暮らせるまちづくりを進めてきました。今年度は、3月3日(土)に開催します。

## 自分らしく

本郷地区



5サロン合同カローリング交流会

本郷地区には、5つのサロンがあり「自分らしく交流し、健康になる」ことを目標に取り組んでいます。サロンが自分らしく過ごせる居場所になるように、地域一体となって盛り上げる、その一つの取組として、今年度は、5サロン合同でカローリング交流会を実施します。参加者同士のコミュニケーションの輪を広げ、自分でも楽しみながら健康増進を進めます。交流会は、3月31日(土)大門小学校体育館にて開催します。

## 健やかに

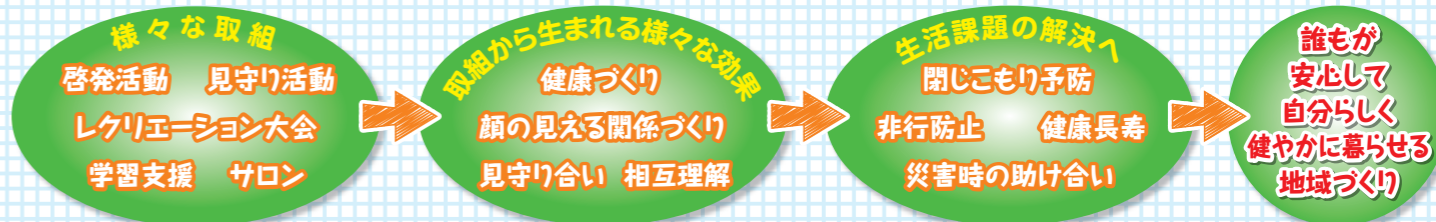
阿久和南部地区



放課後の居場所 笑!和!輪!クラブ

阿久和南部地区では、ヒアリング活動や行事で学校との繋がりを持つ中で、子どもたちの様々な問題、悩みをキャッチしてきました。そこで考えられたのが子どもたちの放課後の居場所づくり。「いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり、地域で育む子ども・子育て世帯との笑(わ)」をキャッチフレーズに、月1回(不定期)阿久和地域ケアプラザを利用してオープンしています。“近所のおじさん、おばさん”と会えることを楽しみにしている子どももいます。今では大事な地域との交流の場です。

このように瀬谷区の各地域では、策定された地区別計画のもとに様々な取組がなされています



# 瀬谷区災害ボランティアセンター開設訓練



主催●瀬谷区災害ボランティアネットワーク

<日時> 平成30年1月20日(土) 10:00~13:00  
<場所> せやまる・ふれあい館



台風や地震等の大規模災害が発生した時には、被災地に災害ボランティアセンターが開設され、全国から駆け付けたボランティアのコーディネートが行われます。瀬谷区が被災した時には「せやまる・ふれあい館」に災害ボランティアセンターが開設されます。今回、その「せやまる・ふれあい館」を会場に、瀬谷区が震度6強の地震被災したことを想定し、災害ボランティアセンター開設のシミュレーションが行われました。

瀬谷区災害ボランティアネットワークの方々を中心に、地域の方々、区役所、区社協等計52名にて災害ボランティアセンターの立ち上げ・依頼収集・ボランティア派遣・報告等一連の訓練を行いました。南瀬谷中学校からたくさんの生徒の参加もあり、高齢者体験・車椅子体験・館内の防災体制の見学等も行いました。



**Q.被災時にボランティアに来てもらいたいときは?**  
**A.** お住まいの地域の防災拠点(区内15か所)にて依頼をしてください。防災拠点からの依頼に基づき、災害ボランティアセンターがボランティアの調整・派遣を行います。

**Q.被災地でボランティア活動を行いたいときは?**  
**A.** まずは自分の安全を確保してください。ボランティアの活動をしていただける方は、登録・派遣を受けるために災害ボランティアセンターに直接お越しください。なお、活動のためにはボランティア活動保険「天災タイプ」に加入していただく必要があります。

## 要援護者の防災について

障がいや病気のある方の中には、要援護者として事前に登録するのが必要と理解していても、周囲への遠慮など様々な理由から人に頼ることを躊躇してしまうことがあります。大変勇気がいることですが、誰でも辛い時には手を貸してほしいと言える「受援力」を備えることが大切だと感じます。「みんな違ってあたりまえ」を胸に、お互いがゆるやかな関心を持ち、歩み寄ることで誰もが住みやすい街となり、それは災害にも強い街にもつながると思っています。(八木澤委員)

1月20日にせやまる・ふれあい館で実施された災害ボランティアセンター開設訓練取材しました。災害時のボランティアの要請、受入れ、手配、派遣の想定訓練です。受入れサイドのメンバーは区社協職員と災害ボランティアネットワークの皆さんですが、その対応によどみはありません。ボランティアになってくれたのが、南瀬谷中学校の生徒の皆さんでした。生徒の表情は真剣そのもので、依頼されるボランティアの内容に取り組んでくれている姿に、心をうたれました。(水村委員)



平成29年度

# 各種募金のご協力状況

※平成28年度実績については平成29年1月末日現在、平成29年度実績については平成30年1月末日現在の実績です。

## 神奈川県共同募金会瀬谷区支会

	<平成29年度実績>	<平成28年度実績>
赤い羽根共同募金	7,788,802円	8,371,675円
年末たすけあい募金	1,889,210円	2,327,603円
合計	9,678,012円	10,699,278円



ご協力ありがとうございました。

## 善意銀行とは

地域の皆様の善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。



<平成29年度実績>	<平成28年度実績>
637,993円	678,272円

## 日本赤十字社瀬谷区地区委員会

	<平成29年度実績>	<平成28年度実績>
会費	6,004,964円	6,337,305円

## 日本赤十字社 瀬谷区地区委員会 災害義援金

<義援金名>	<件数>	<金額>	<受付期間>
●平成28年熊本地震災害義援金	1件	12,000円	平成28年4月15日~平成30年3月30日
●平成29年7月5日からの大雨災害義援金(福岡県・大分県)	52件	517,710円	平成29年7月7日~平成30年3月30日
●平成29年秋田県大雨災害義援金	2件	6,865円	平成29年7月27日~平成29年8月31日

55件 536,575円

## 賛助会費納入協力状況報告

世帯賛助会費	6,272,275円(昨年度 6,231,857円)
法人・個人会費	405,000円(昨年度 432,000円)
合計	6,677,275円(昨年度 6,663,857円)

### ●賛助会費とは●

賛助会費は、瀬谷区内の地区社会福祉協議会と地域福祉活動団体の運営を支援するために、地区社協へ55%の還元、ふれあい助成金の財源として活用しています。

### ●賛助会員とは●

本会の実施する事業に対して、ご賛同いただき、1年ごとに会員という形で地域の福祉活動を財政面で支えていただく世帯・個人・法人・団体の皆様の協力のもと、とりまとめている。

### ●賛助会費の種類●

世帯賛助会費(1口1,000円) 法人賛助会費(1口5,000円)  
個人の方を対象とした世帯賛助会費については、毎年7月から各自治会・町内会の皆様のご協力のもと、とりまとめている。

## 法人賛助会費にご協力いただいた皆様

1月末日現在 (順不同・敬称略)

- (株)浅川建設 ●(株)ジェイアーク ●(株)ライブロンコーポレーション
- (株)ARM'S ●(有)上越建設 ●(株)ジャパンダットサンサービス
- (有)山内板金工業 ●(株)谷村工務店 ●(株)連合社印刷 ●(有)第一産業
- コーロ計装(株) ●(一社)横浜市瀬谷区医師会 ●(株)松下コンクリート建材
- 共同建工(株) ●社会保険労務士法人 閃光舎 ●(株)アイシマ ●(有)報栄
- (株)アム ●瀬谷交通(有) ●(有)信城工業 ●(株)伸和 ●(有)トーフ
- (特非)ワークスわくわく ●(株)エービーテック ●(株)尾坪工務店
- (有)朝日スポーツセンター イシケンスポーツ瀬谷店 ●(株)あんざい
- (株)日生設備 ●(株)丸子商事 ●(株)小松工業 ●(株)エムテック松崎
- 川合機工(株) ●(株)アクティブ ●医療法人社団和隆 かなた内科クリニック
- (社福)朋友会 軽費老人ホーム睦荘 ●ダスキンヘルスレント横浜西ステーション
- (有)安芸芸装 ●医療法人産育会 堀病院 ●(有)橋田商事 ●(株)シーケン
- 東都造園(株) ●三ツ境交通(有) ●まこと幼稚園 ●税理士法人TMP
- (株)岩本工業 ●(株)高米設備工業 ●(有)ラ・シード ●クローバ(株)
- (株)リビングタナカ ●(株)国際連邦警備保障 ●エスワイ産業(株)
- 日翔物流(株) ●(株)カナコン ●(有)小林鉄筋工業所 ●珈心館
- (株)白光社 ●(有)山百合商事 ●平田自動車工業(株) ●(株)佐川商事
- 日総ニフティ(株) ●曙工業(株)

※賛助会費は確定申告の際、寄附金控除の対象となります。

# 今年で7年目 ボランティアバス 東日本復興支援 被災地を忘れない、震災を風化させない

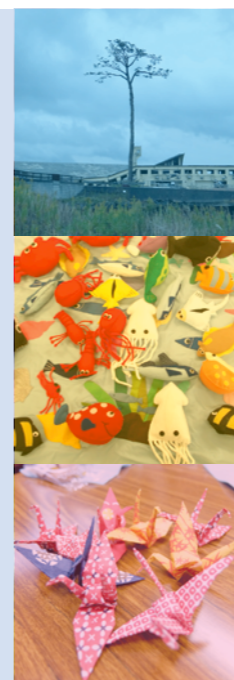
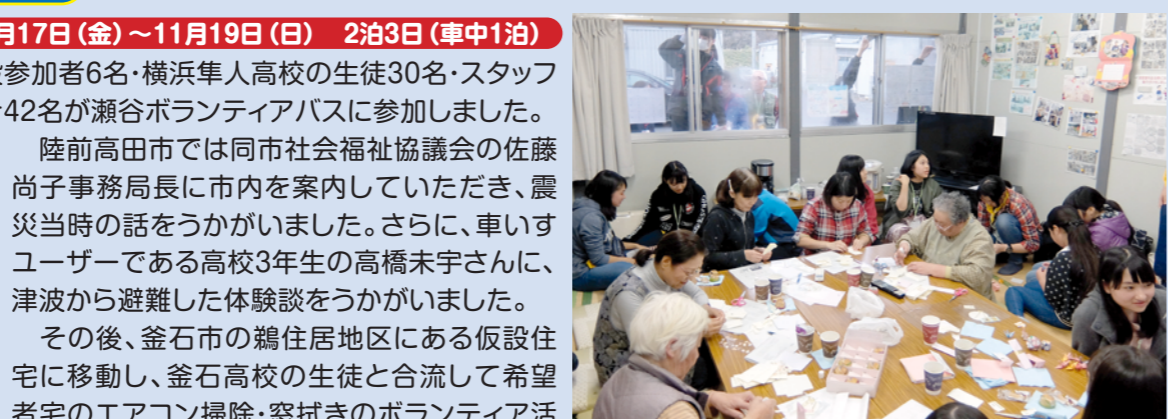
平成29年11月17日(金)~11月19日(日) 2泊3日(車中1泊)

一般参加者6名・横浜隼人高校の生徒30名・スタッフ6名 計42名が瀬谷ボランティアバスに参加しました。

陸前高田市では同市社会福祉協議会の佐藤尚子事務局長に市内を案内していただき、震災当時の話をうかがいました。さらに、車いすユーザーである高校3年生の高橋未宇さんに、津波から避難した体験談をうかがいました。

その後、釜石市の鶴住居地区にある仮設住宅に移動し、釜石高校の生徒と合流して希望者宅のエアコン掃除・窓拭きのボランティア活動を行いました。集会場では、談笑をしながら箸袋やランチョンマットを作成して交流しました。

また、せやま布えほんぐらぶが作製した布おもちゃを寄贈し、現地の方々の笑顔の一助にさせていただきました。復興は少しずつ進んでいますが、現地の方々による「忘れないで」という想いを大切にしながら今後も活動を行っていきます。



## 学用品のリユースについて

たくさんご協力をいただきました学用品は、平成29年11月20日~22日の3日間、区内の学習支援活動団体へ譲渡会を実施し、6団体へ配布しました。たくさんのご協力をありがとうございました。



### 団体からのお礼メッセージ

消しゴムや鉛筆など、子どもたちが日々使うものなどたくさんいただきました。大事に使います。ありがとうございました。(NPO法人ワークス わくわく)

日本語学習者にひらがな、漢字の書き方などのおけいこ帳が大変喜ばれました。子供向けノート、鉛筆など、有効活用させていただきます。ありがとうございました。(国際交流せや)